

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-96679

(P2015-96679A)

(43) 公開日 平成27年5月21日(2015.5.21)

(51) Int.Cl.
E04H 1/02 (2006.01)F 1
E04H 1/02テーマコード (参考)
2E025

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2013-236691 (P2013-236691)
(22) 出願日 平成25年11月15日 (2013.11.15)(71) 出願人 303046244
旭化成ホームズ株式会社
東京都新宿区西新宿一丁目24番1号
(74) 代理人 100088155
弁理士 長谷川 芳樹
(74) 代理人 100128381
弁理士 清水 義憲
(74) 代理人 100133307
弁理士 西本 博之
(72) 発明者 藤田 耕一郎
東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 旭
化成ホームズ株式会社内
Fターム(参考) 2E025 AA01 AA12 AA22

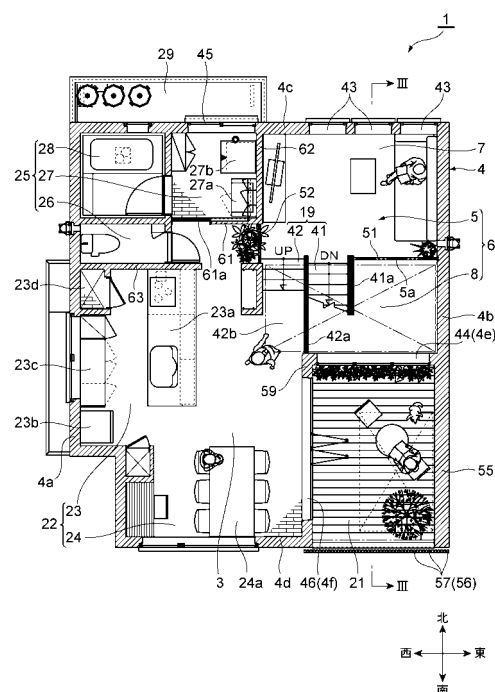
(54) 【発明の名称】 建物

(57) 【要約】

【課題】 居室のプライバシーを確保しやすい建物を提供することを目的とする。

【解決手段】 下階床と、下階床の上方に配置された上階床3と、上下方向において下階床と上階床3との間に位置する中間階床5の上に形成された第1居室7と、平面視において第1居室7に隣接し且つ第1居室7に連通する吹抜け部8と、平面視において吹抜け部8に隣接し且つ上階床3と略等しい高さに形成された外部床21と、第1窓44を有し吹抜け部8と外部床21とを区画する第1外周壁4eとを備える構成とし、平面視において第1方向に外部床21、吹抜け部8、中間階床5を並べて配置する。第1居室7と隣地との間に外部床21に加えて吹抜け部8介在させて、隣地から第1居室7を遠ざけて配置する。更に、第1居室7の床5を外部床21よりも低くして、隣地の住宅から第1居室の床面を見にくくする。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

下階床と、
前記下階床の上方に配置された上階床と、
上下方向において前記下階床と前記上階床との間に位置する中間階床の上に形成された第 1 居室と、
平面視において前記第 1 居室に隣接し且つ前記第 1 居室に連通する吹抜け部と、
平面視において前記吹抜け部に隣接し且つ前記上階床と略等しい高さに形成された外部床と、
第 1 窓を有し前記吹抜け部と前記外部床とを区画する第 1 外周壁とを備え、
平面視において第 1 方向に前記外部床、前記吹抜け部、前記中間階床の順に並んで配置されていることを特徴とする建物。

10

【請求項 2】

前記中間階床と前記上階床とを連絡する第 1 階段と、
前記上階床の上に形成され平面視において前記第 1 方向と交差する第 2 方向に前記吹抜け部及び前記外部床に隣接する第 2 居室と、
出入口を兼ねる第 2 窓有し前記第 2 居室と前記外部床とを区画する第 2 外周壁とを更に備え、
平面視において前記第 1 外周壁と前記第 2 外周壁とは直交して入隅を形成し、
前記第 1 階段は、前記吹抜け部内で前記第 2 居室に隣接して前記第 1 方向に沿って配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の建物。

20

【請求項 3】

前記外部床における前記第 2 外周壁に対向する端縁に沿って配置され、前記外部床からの高さが少なくとも 1 6 0 0 mm である外部壁が設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の建物。

【請求項 4】

前記外部床における前記第 1 外周壁に対向する端縁に沿って並べられ、上下方向に延在する複数の縦棧を有するスクリーンを備え、
前記縦棧の長手方向に直交する断面は長方形であり、前記長方形の長辺同士が対向して配置されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載の建物。

30

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、下階床と上階床との間に中間階床を備える建物に関する。

【背景技術】**【0002】**

上階の床よりも低く下階の床よりも高い位置に配置されたスキップ床（中間階床）を備えた住宅が知られている（例えば特許文献 1 参照）。特許文献 1 に記載の住宅では、南側に配置されたスキップ床上に、通常の約 1.5 倍の天井高さのリビングルームが形成されている。この住宅の 1 階床上には、リビングルームの北側に隣接する吹抜け部を挟んでダイニングキッチンが設けられている。

40

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2 0 0 5 - 3 5 0 8 8 0 号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

上記特許文献 1 に記載の従来技術では、リビングルームが建物の内部の南側に配置されているので、都市部の狭隘な敷地に建築された場合には、南側の隣家との離隔距離を充分

50

に確保できずプライバシーを確保することが難しかった。本発明は居室のプライバシーを確保しやすい建物を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本発明の建物は、下階床と、下階床の上方に配置された上階床と、上下方向において下階床と上階床との間に位置する中間階床の上に形成された第1居室と、平面視において第1居室に隣接し且つ第1居室に連通する吹抜け部と、平面視において吹抜け部に隣接し且つ上階床と略等しい高さに形成された外部床と、第1窓を有し吹抜け部と外部床とを区画する第1外周壁とを備え、平面視において第1方向に外部床、吹抜け部、中間階床の順に並んで配置されていることを特徴としている。

10

【0006】

この建物では、第1居室と隣地との間に外部床に加えて吹抜け部が介在し、隣地から第1居室を遠ざけて配置することができる。更に、この建物では第1居室の床が上階床よりも低く設定されているので、隣地側に配置された外部床よりも第1居室の床面が低くなり、隣地の住宅から第1居室の床面を見にくくすることができ、第1居室のプライバシーが確保されやすくなる。また、第1窓が吹抜け部と外部床とを仕切る第1外周壁に設けられているので、第1居室からみると相対的に高い位置に第1窓が配置されることになり、第1居室に対して斜め上方から第1窓を通じて太陽光を採り入れることができる。そのため、第1居室のプライバシーを確保しつつ採光性能を向上させることができる。また、第1窓を有する第1外周壁は吹抜け部に隣接して配置されているので、第1窓を通じて採り入れられた太陽光は吹抜け部を通過して下階床上に到達する。これにより下階床上の室内空間においても採光性能が向上される。なお、上階床と略等しい高さとは、上階床と等しい高さを含み、雨仕舞い等の都合上高さが若干異なる（上階床よりも低い）ものを含む。例えば、上階床から0～100mm程度低いものでもよい。

20

【0007】

ここで、中間階床と上階床とを連絡する第1階段と、上階床の上に形成され平面視において前記第1方向と交差する第2方向に吹抜け部及び外部床に隣接する第2居室と、出入口を兼ねる第2窓有し第2居室と外部床とを区画する第2外周壁とを更に備え、平面視において第1外周壁と第2外周壁とは直交して入隅を形成し、第1階段は、吹抜け部内で第2居室に隣接して第1方向に沿って配置されている構成でもよい。この構成の建物では、中間階床と上階床とを連絡する第1階段を用いて第1方向に吹抜け部を通過して第1居室から第2居室に到達することができる。第2居室からは第2窓を通り外部床に出ることができるので、第1居室は外部床に隣接していないものの、半階分昇るだけで外部床に容易にアクセスすることができる。

30

【0008】

また、外部床における第2外周壁に対向する端縁に沿って配置され、外部床からの高さが少なくとも1600mmである外部壁が設けられていてもよい。この構成の建物では、第2外周壁に対向して少なくとも人の背丈程度の高さを有する外部壁が設けられているので、建物の外部からの第2方向の視線が遮られる。そのため外部壁によって第2居室のプライバシーが確保される。

40

【0009】

ここで、外部床における第1外周壁に対向する端縁に沿って並べられ、上下方向に延在する複数の縦棧を有するスクリーンを備え、縦棧の長手方向に直交する断面は長方形であり、長方形の長辺同士が対向して配置されていてもよい。縦棧の長方形断面の長辺が第1方向に沿って配置されているので、隣り合う縦棧同士の隙間を通じて第1方向に沿って第1居室への採光を確保することができ、建物外部からの第2居室への視線を妨げることができる。縦棧同士の隙間は、長方形断面の長辺より小さい。

【発明の効果】

【0010】

本発明によれば、居室のプライバシーを確保しやすい建物を提供することができる。

50

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の一実施形態の建物の1階部分を示す平面図である。

【図2】図1に示す建物の2階部分を示す平面図である。

【図3】図1に示す建物のIII-III線矢視図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

以下、図面を参照しつつ、本発明に係る建具の実施形態について詳細に説明する。図1及び図2では、建物1の北側の領域が上側になるように図示している。

【0013】

10

（躯体基本構成）

建物1は、例えば305mmの平面モジュール（いわゆる「尺モジュール」）を有する梁勝ち工法が採用された鉄骨造2階建て、陸屋根形式の工業化住宅である。建物1の基礎は、格子状に構築された鉄筋コンクリート造の布基礎であり、H型鋼からなる基礎梁が適宜架け渡されている。建物1の軸組架構は、規格化された複数の梁及び柱が剛接合されて構成され、1階及び2階の柱の長さは等しくなっている。規格化された柱の長さは1階及び2階とも単一種類であり建物1の高さは固定され、基本的には、2階床3は階高を2等分する高さに配置されている。

【0014】

20

各階の床は各階の梁で支持された複数のALC（軽量気泡コンクリート）パネルからなり、1階床（下階床）2は基礎梁に支持され、2階床（上階床）3は2階の梁に支持されている。建物1の外周壁4は各階の梁で支持された複数のALCパネルからなり、ALCパネルの上端及び下端はそれぞれ、上下方向に対向する梁に支持されている。1階部分の外周壁4は基礎梁及び2階の梁に支持され、2階部分の外周壁4は2階の梁及び天井側の梁に支持されている。

【0015】

建物1では、1階及び2階で上下に連続して配置された四隅の柱の内側の領域である平面視矩形状の複数のグリッドを備え、複数のグリッドのうちの一つのグリッドにおいて、2階床3（及び小梁）が取り除かれ、この取り除かれた領域内に中間階床5が設置されている。「2階床が取り除かれ」とは、2階床3が設置されていないことをいう。同様に、「小梁が取り除かれ」とは、小梁が設置されていないことをいう。また、中間階床5が設置されるグリッド（領域）を中間階グリッド6という。

30

【0016】

建物1は、2階床3の床面よりも約800mm低い高さに中間階床5を設けることができるように規格化されたものである。建物1の軸組架構は、中間階床5を支持する中間梁及び中間柱を有する。中間階床5は、1階床2及び2階床3と同様にALCからなり、中間梁によって支持されている。中間階床5は1階床2よりも2090mm高く、2階床3よりも800mm低い位置に配置されている。

【0017】

建物1は、図1及び図2に示されるように、平面視において略矩形状を成している。建物1を田の字状に南北方向（第1方向）に2分割し東西方向（第2方向）に2分割して4分割した場合の北東角部を含む領域に中間階グリッド6が配置されている。中間階グリッド6内の北寄りの領域に中間階床5が配置され、中間階グリッド6内において中間階床5が配置されていない南寄りの領域が吹抜け部8となる。

40

【0018】

（建物の全体構成）

建物1は、夫婦と2人の子供とからなる4人家族の居住が想定された間取りを有している。例えば、建物1の南の隣地には住宅が存在し、建物1の西側には南北方向に延在する道路が配置されている場合が想定されている。

【0019】

50

建物 1 の 1 階部分には、図 1 に示されるように、玄関 1 0、シューズクローゼット 1 1、ホール 1 2、トイレ 1 3、廊下 1 4、子供室 1 5、寝室 1 6、W I C (walk-in closet) 1 7 及びライブラリー (図書室) 1 8 が配置され、建物 1 の 2 階部分には、図 2 に示されるように、ベランダ (外部床) 2 1、DK 2 2 (台所部 2 3、食堂部 2 4)、水回り 2 5 (トイレ 2 6、洗面室 2 7、浴室 2 8) が配置されている。また、中間階床 5 上の空間すなわち中間階には、居間 (第 1 居室) 7 が形成されている。吹抜け部 8 内には階段室 1 9 (下階段 4 1、上階段 4 2) が配置されている。

【0020】

(1 階の構成)

玄関 1 0 は、平面視において建物 1 の西側の略中央で、外周壁 4 a に接するように配置されており、当該外周壁 4 a には玄関ドア 1 0 a が設けられている。玄関 1 0 の床は玄関ポーチ 1 0 b に連続してタイル等の外装床材で仕上げられ、その高さは 1 階床 2 の一般部よりも 2 0 0 mm 弱低く設定されている。

【0021】

シューズクローゼット 1 1 は玄関 1 0 の北側に隣接している。シューズクローゼット 1 1 及び玄関 1 0 は同一の床仕上げ及び同一の床高さを有し、玄関 1 0 とシューズクローゼット 1 1 との間の間仕切り壁 3 1 には開き戸形式の建具 3 1 a を備えた出入口が形成されている。

【0022】

玄関 1 0 の東側には上がり框を挟んで玄関 1 0 に連通するホール 1 2 が配置されている。ホール 1 2 には、洗面化粧台 1 2 a が設置されている。ホール 1 2 の東側に隣接してトイレ 1 3 が配置されている。トイレ 1 3 は上階段 4 2 下の空間を利用して設けられており、上階段 4 2 の段部下方の天井は階段形状に対応して傾斜している。ホール 1 2 とトイレ 1 3 との間の間仕切り壁 3 2 には開き戸形式の建具 3 2 a を備えた出入口が形成されている。

【0023】

ホール 1 2 に連続して東西方向に延びる廊下 1 4 が配置されている。ホール 1 2 と廊下 1 4 とは引戸形式の建具 3 3 によって区画されている。廊下 1 4 は南北方向に昇降可能な下階段 4 1 に連通している。下階段 4 1 は廊下 1 4 と中間階床 5 とを接続している。平面視において、トイレ 1 3 の東側に隣接して下階段 4 1 が配置されている。廊下 1 4 上の人

【0024】

南側には子供室 1 5 が配置されている。子供室 1 5 と廊下 1 4 との間の間仕切り壁 3 4 には 3 枚引戸形式の天地丈の建具 3 4 a が配置されている。建具 3 4 a は半透明の素材からなり、廊下 1 4 側から子供室 1 5 の内部の様子をうかがうことができる。子供室 1 5 は、2 人の子供が共用する 1 室の空間として使用可能であるが、将来的に 2 室に仕切って使用することができる広さを有する。また、子供室 1 5 にはダブルベッド 1 5 a が設置されている。

【0025】

北西の角部には寝室 1 6 が配置され、寝室 1 6 はホール 1 2 の北側に隣接している。寝室 1 6 とホール 1 2 との間の間仕切り壁 3 5 には開き戸形式の建具 3 5 a を備えた出入口が形成されている。

【0026】

北東の角部には W I C 1 7 が配置され、W I C 1 7 は寝室 1 6 の東側に隣接している。W I C 1 7 は中間階床 5 下及び下階段 4 1 下に位置している。W I C 1 7 の床は、1 階床 2 の一般部より 4 0 0 mm 低く設定されており、W I C 1 7 の天井高さは 2 1 0 0 mm 確保されている。W I C 1 7 と寝室 1 6 との間の間仕切り壁 3 6 には開き戸形式の建具 3 6 a を備えた出入口が形成されている。なお、寝室 1 6 における W I C 1 7 の出入口近傍の領域の床も 1 階床 2 の一般部よりも 4 0 0 mm 低く設定され、人の出入りに支障がない高さに設定されている。

10

20

30

40

50

【0027】

東側でW I C 1 7と廊下1 4との間にはライブラリー1 8が配置されている。ライブラリー1 8は書斎兼子供の勉強室として利用可能である。ライブラリー1 8の一部の領域（北側の約3分の1）は中間階床5下に位置し、残りの領域（南側の約3分の1）が吹抜け部8の下に位置している。W I C 1 7とライブラリー1 8との間の間仕切り壁3 7に沿って書棚1 8 aが設置され、東側の外周壁4 bに沿って床面から4 0 0 mmの高さにカウンター1 8 bが設置されている。

【0028】

ライブラリー1 8の床は、W I C 1 7と同様に1階床2の一般部よりも4 0 0 mm低く設定されている。ライブラリー1 8の西側の間仕切り壁3 8には開き戸形式の建具3 8 aを備えた出入口が形成されている。ライブラリー1 8と廊下1 4との間には間仕切り壁はなく、ライブラリー1 8と廊下1 4とは連通されている。また、子供室1 5の3枚の引戸形式の建具3 4 aを西側に引き寄せることで、1 8 0 0 mm弱の幅で開放されて、ライブラリー1 8と子供室1 5とは廊下1 4を介して一体の空間となる。

【0029】

（中間階及び2階の構成）

図2に示されるように、北東角部を含む領域に中間階床5が配置され、西側の領域に2階床3が配置され、中間階床5及び2階床3は平面視においてL字状を成すように配置されている。また、南東角部を含む領域にベランダ2 1が配置されている。南北方向（第1方向）において南からベランダ2 1、吹抜け部8、中間階床5の順に並んで配置されている。

【0030】

居間7は中間階床5上の中間階空間の全領域を含むものであり、居間7の天井7 a（図3参照）は2階床3上の天井と等しい高さとなっている。2階床3上の天井、居間7の天井7 a、吹抜け部8の天井8 a及びベランダ2 1上の天井2 1 aは、全て同じ高さに配置されている。中間階床5の床面から居間7の天井7 aまでの高さは約3 2 0 0 mmである。居間7の北側の外周壁4 cには窓4 3が設けられている。

【0031】

居間（中間階床5）7の吹抜け部8側の端縁5 aのうち下階段4 1及び上階段4 2との接続部分以外の部分には透明パネル5 1が設けられている。透明パネル5 1に代えて複数の縦桟からなり透視性を有する手摺が配置されていてもよい。

【0032】

階段室1 9は、吹抜け部8内の西寄りの領域に配置されている。階段室1 9内の東寄りの領域に下階段（第2階段）4 1が配置され、階段室1 9内の西寄りの領域に上階段（第1階段）4 2が配置され、これらの下階段4 1及び上階段4 2は南北方向に昇降するように設置されている。下階段4 1の開放側（東側）の側面に沿って腰壁形式の手摺4 1 aが設けられ、上階段4 2の開放側（東側）の側面に沿って腰壁形式の手摺4 1 bが設けられている。下階段4 1は平面視及び側面視ともに直線状に配置された階段であり、上階段4 2は平面視において直線状であり、側面視において「へ」字状の階段であり、段部を昇り切った上端部分に2階床3と等しい高さで連続する平面視矩形状の踊場4 2 bを有する。踊場4 2 bの西側の長辺及び南側の短辺がD K 2 2の床面に接している。

【0033】

吹抜け部8とベランダ2 1とを区画する外周壁（第1外周壁）4 eには窓（第1窓）4 4が設けられている。窓4 4は透明ガラスが嵌め込まれた嵌め殺し形式の窓である。窓4 4の下端4 4 aは2階床3の床面近傍の高さであり2階床3の床面から約1 8 0 mmの高さに位置し、窓4 4の上端4 4 bは2階の天井の近傍の高さであり天井から約7 0 mm低い位置に配置されている。

【0034】

D K（第2居室）2 2は2階床3上の空間のうち南寄りの領域に配置され、水回り2 5は2階床3上の空間のうち北寄りの領域に配置されている。D K 2 2内の南寄りの領域に

10

20

30

40

50

食堂部 2 4 が配置され、D K 2 2 内の北寄りの領域に台所部 2 3 が配置されている。台所部 2 3 にはペニンシュラ形式のキッチンセット 2 3 a が設置され、このキッチンセット 2 3 a は使用者が東を向いて調理できるように配置されている。キッチンセット 2 3 a の背面側には、西側の外周壁 4 a に沿って、冷蔵庫 2 3 b、食器棚 2 3 c 及び食品庫 2 3 d が設置されている。また、食堂部 2 4 にはダイニングテーブル 2 4 a が配置されている。

【0035】

D K 2 2 の北側にはトイレ 2 6、洗面室 2 7 及び浴室 2 8 からなる水回り 2 5 が配置されている。水回り 2 5 は居間 7 の西側に隣接している。居間 7 に隣接する洗面室 2 7 には洗面化粧台 2 7 a が設置されていると共に、洗濯機用の給排水設備を備えた洗濯コーナー 2 7 b が設けられている。浴室 2 8 は洗面室 2 7 の西側に隣接して配置されている。洗面室 2 7 及び浴室 2 8 の北側にはベランダ 2 9 が設けられている。北側の外周壁 4 c にはベランダ 2 9 と洗面室 2 7 とを連通する出入口を兼ねる窓 4 5 が設けられている。洗面室 2 7 と D K 2 2 との間の間仕切り壁 6 1 には片引き形式の建具 6 1 a を備えた出入口が設けられている。

【0036】

トイレ 2 6 は南北方向において浴室 2 8 と台所部 2 3 との間に配置されている。また、東西方向においてトイレ 2 6 の出入口に対向し 2 階床 3 の居間 7 側の端縁には透明パネル 5 2 が設けられている。透明パネル 5 2 は、東西方向において居間 7 と洗面室 2 7 との間の間仕切り壁 6 2 と略同じ位置に配置されている。また、トイレ 2 6 と台所部 2 3 との間の間仕切り壁 6 3 は、南北方向において居間 7 の吹抜け部 8 側の端縁 5 a と略同じ位置に配置されている。

【0037】

食堂部 2 4 の東側に隣接してベランダ 2 1 が配置されている。ベランダ 2 1 の床面は 2 階床 3 の床面と略等しい高さに設定されている。食堂部 2 4 とベランダ 2 1 とを区画する外周壁（第 2 外周壁）4 f には透明ガラスを有する折り畳み形式の窓（第 2 窓）4 6 が設けられている。窓 4 6 の下端は 2 階床 3 の床面近傍の高さであり 2 階床 3 の床面から約 1 8 0 mm の高さに位置し、窓 4 6 の上端は 2 階の天井の近傍の高さであり天井から約 7 0 mm 低い位置に配置されている。窓 4 6 は D K 2 2 とベランダ 2 1 との間の出入口を兼ねている。ベランダ 2 1 には窓 4 6 から出入り可能である。

【0038】

ベランダ 2 1 において、窓 4 4、4 6 側の領域は屋根 9（図 3 参照）によって覆われ、その他の南東角部の領域は開放されている。

【0039】

ベランダ 2 1 の東側の端縁（外周壁 4 f に対向する端縁）に沿って外部壁 5 5 が設けられている。外部壁 5 5 は、ベランダ 2 1 の床面から屋根 9 に到達する高さを有する。外部壁 5 5 の上端 5 5 a は、屋根 9 より上方に配置されている。外部壁 5 5 は、ベランダ 2 1 の東側の側面を覆うように配置されている。

【0040】

また、ベランダ 2 1 の南側の端縁には外部壁は設置されておらず外部に対して開放されている。ベランダ 2 1 の南側の側面は、床面近傍から軒天井近傍まで略全面的に開放されている。ベランダ 2 1 の南側の端縁（外周壁 4 e に対向する端縁）に沿ってスクリーン 5 6 が設置されている。スクリーン 5 6 は、上下方向に延在する複数の縦棧 5 7 を備え、縦棧 5 7 はベランダ 2 1 の南側の端縁に沿って並べられている。

【0041】

縦棧 5 7 の長手方向（上下方向）に直交する断面は長方形であり、長方形の長辺同士が東西方向に対向して配置されている。対向する長辺の間隔は、長辺の長さより短くなっている。また、縦棧 5 7 の下端は、1 階の子供室 1 5 の窓 4 7 の下端より低い位置に配置され、縦棧 5 7 の上端は、屋根 9 に略等しい高さに配置されている。

【0042】

また、ベランダ 2 1 の北側の外周壁（第 1 外周壁）4 e と西側の外周壁（第 2 外周壁）

10

20

30

40

50

4 fとは、入隅5 9を形成するように交差している。外周壁4 eは南北方向において、DK 2 2の中央に対応する位置に配置され、外周壁4 fは東西方向において、上階段4 2と下階段4 1との境界（手摺4 2 a）と略等しい位置に配置されている。

【0043】

上階段4 2は、図2に示されるように、東西方向において、外周壁4 fと中間階床5の西側の端縁との間に配置されて、南北方向に延在して中間階床5と2階床3とを連絡している。上階段4 2の踊場4 2 bは、北東角部と南西角部とを結ぶ対角線上であり、DK 2 2と中間階床5との間に配置されている。踊場4 2 bの南側の端縁でありDK 2 2の床との接続部分は、入隅5 9の近傍に配置されている。また、踊場4 2 bはキッチンセット3 aの東側に位置している。

10

【0044】

次に建物1の作用について説明する。この建物1では、建物1の南側の隣地と居間7との間にベランダ2 1に加えて吹抜け部8が介在し、隣地から居間7を遠ざけて配置することができる。更に、この建物1では居間7の床が南の隣地側のベランダ2 1の床面よりも低く設定されているので、隣地の住宅の2階から居間7の床面を見にくくすることができ、居間7におけるプライバシーが確保される。

【0045】

また、建物1では、ベランダ2 1の上方の屋根が開放されており、吹抜け部8とベランダ2 1とを仕切る外周壁4 eに窓4 4が設けられているので、居間7からみると相対的に高い位置に窓4 4が配置されることになり、居間7に対して斜め上方から窓4 4を通じて太陽光を採り入れることができる。そのため、居間7のプライバシーを確保しつつ採光性能を向上させることができる。また、窓4 4を有する外周壁4 eは吹抜け部8の南側に隣接して配置されているので、窓4 4を通じて採り入れられた太陽光は吹抜け部8を通過してライブラリー1 8に到達する。これにより1階の室内空間であるライブラリー1 8においても採光性能が向上される。ベランダ2 1の上方が開放されているので、ベランダ2 1、居間7、吹抜け部8及びDK 2 2への採光が確保されている。

20

【0046】

また、建物1では、中間階床5上にいる人は、上階段4 2を昇ることで、吹抜け部8を南北方向に通過して居間7からDK 2 2の入隅5 9近傍に到達することができ、DK 2 2から外周壁4 fの窓4 6を出入口としてベランダ2 1に出入りすることができる。そのため、居間7はベランダ2 1に隣接していないものの、半階分昇るだけで容易にベランダ2 1にアクセスすることができる。

30

【0047】

建物1では、ベランダ2 1における東側の端縁に沿って外部壁5 5が配置され、外部壁5 5は人の背丈よりも高く設定されているので、建物1の東側の隣地からの視線を遮ることができる。これにより、DK 2 2及びベランダ2 1におけるプライバシーが確保されている。

【0048】

建物1では、ベランダ2 1における南側の端縁に沿って並べられスクリーン5 6が配置され、スクリーン5 6は複数の縦棧5 7を有し、複数の縦棧5 7の長辺同士が対向するように並べられ、隣り合う縦棧5 7間の隙間が長辺よりも短くなっているため、南北方向に対して傾斜する視線を遮ることができる。これにより、南の隣地の住宅から窓4 6へ向かう視線遮ることができ、DK 2 2におけるプライバシーを確保することができる。また、縦棧5 7間の隙間を通じて空気が流通可能であるため、通風性を向上させることができ、窓4 4、4 6を開放することで、建物1内に空気を流入させることができる。また、スクリーン5 6によって、居間7に向かう方向への採光を妨げることなくDK 2 2に向かう視線を遮ることができる。

40

【0049】

また、建物1では、吹抜け部8内において入隅5 9近傍に踊場4 2 bが配置され、踊場4 2 b近傍から居間7及びライブラリー1 8の様子をうかがうことができる。これにより

50

、DK 22から隣接する踊場 42bに移動して居間7及びライブラリー18の様子を容易に確認することができる。

【0050】

また、建物1では、台所部23のキッチンセット23aから居間7が配置された方向を見た場合に間仕切り壁などの視線を遮るものが配置されていないので、キッチンセット23aを利用しながら、居間7の様子をうかがうことができる。

【0051】

また、建物1では、居間7と吹抜け部8との境に透明パネル51が設けられているので、居間7にいる人は、吹抜け部8を通じて斜め下方を見るだけでライブラリー18及び子供室15の様子をうかがうことができる。また、子供室15の建具34aは半透明の素材で形成されているので、子供室15の出入口が閉じられた状態であってもシルエットにより、子供室15内の子供の気配を確認することができる。

10

【0052】

また、建物1では、寝室16からWIC17を通りライブラリー18に行くことができると共に、子供室15から廊下14を通りライブラリー18に行くことができる。これにより、2方向から容易にライブラリー18に出入りすることができる。また、ライブラリー18において親子の交流を図り易くすることができる。

【0053】

また、廊下14とライブラリー18の間には、間仕切り壁はなく、建具34aを開放することで、子供室15、廊下14及びライブラリー18を一体の空間として利用することができるので、子供室15に子供用の学習機を設置する必要がなく、スペースの有効利用を図ることができる。また、子供がライブラリー18に行きやすくなるので、子供室15内に子供がこもってしまうことを防止することができる。

20

【0054】

本発明は、前述した実施形態に限定されず、本発明の要旨を逸脱しない範囲で下記ののような種々の変形が可能である。

【0055】

上記の実施形態では、第1方向を南北方向として説明しているが、第1方向は南北方向から例えば45度程度ずれた方向でもよい。また、第1方向を東西方向としてもよい。隣地に近い方向にベランダ21が配置され、隣地から遠い方に中間階床5が配置されていればよい。

30

【0056】

また、中間階床5の居室は居間7に限定されず、例えば、食堂やライブラリーなどその他の交流スペースとしてもよく、中間階床5上の第1居室として食堂を配置して、2階床3上の第2居室として居間を配置してもよく、第2居室を第1居間として、第2居室を第2居間としてもよい。

【0057】

また、中間階床5と2階床3とを連絡する階段として、吹抜け部8内に配置されていない階段が設けられていてもよい。

【0058】

また、外部壁55は、ベランダ21の床面からの高さが1600mm程度のものでもよく、少なくとも人の背丈程度の高さを有するものでもよい。外部壁55に代えて、スクリーンなどが設けられていてもよい。

40

【0059】

また、上記実施形態では、下階床を1階の床とし、上階床を2階の床としているが、下階床を2階の床とし、上階床を3階の床としてもよい。また、下階床を地面より低いと高さに配置してもよい。

【0060】

また、建物1が建築される敷地は矩形状に限定されず、その他の形状でもよい。隣地の家及び道路の配置は、いずれの方向に配置されていてもよい。

50

【0061】

また、上記実施形態では、ベランダ21の上方は部分的に開放されているが、全面的に開放されているものでもよい。

【0062】

また、窓（第1窓）44の形式は嵌め殺し形式に限定されず、採光が得られるものであればいずれの形式でもよい。

【0063】

また、窓（第2窓）46の形式は折り畳み形式に限定されず、引き違い形式など人が通行可能な出入口として利用できればいずれの形式でもよい。

【0064】

また、下階段41は、上階段42に隣接して配置されていないものでもよい。例えば、東側の外周壁4bに沿って配置されていてもよい。

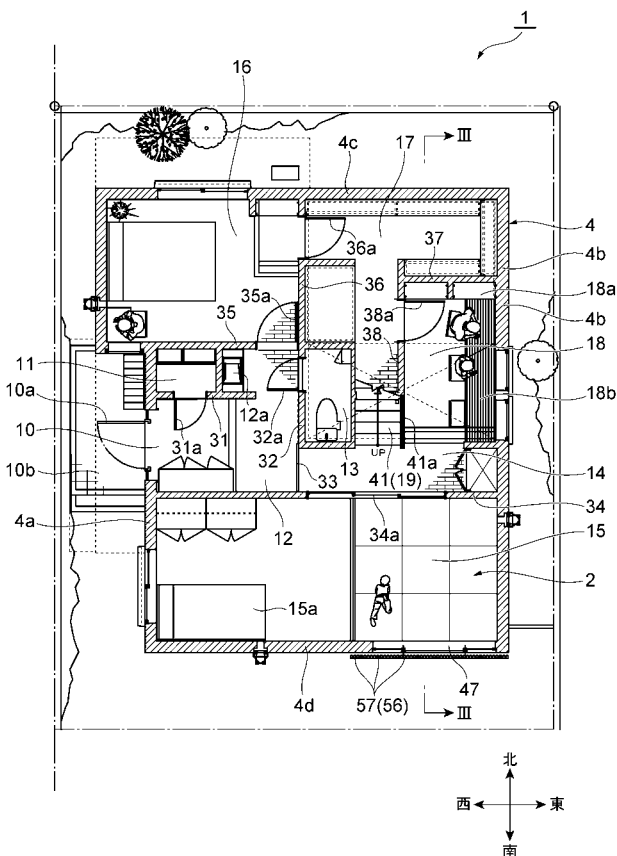
【符号の説明】

【0065】

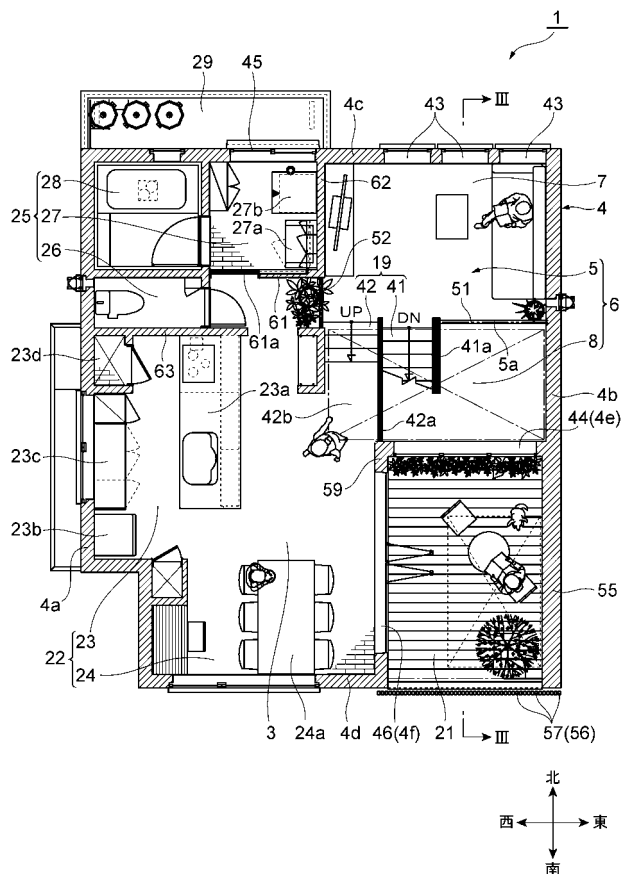
1…建物、2…1階床（下階床）、3…2階床（上階床）、4e…外周壁（第1外周壁）、4f…外周壁（第2外周壁）、5…中間階床、7…居間（第1居室）、8…吹抜け部、21…ベランダ（外部床）、22…DK（第2居室）、44…窓（第1窓）、46…窓（第2窓）、55…外部壁、56…スクリーン、59…入隅。

10

【図1】



【図2】



【 図 3 】

